

気仙沼市役所において避難所開設・運営演習の講師を担当しました(2016/2/1)

テーマ：避難所運営，職員研修
場所：気仙沼市役所

2月1日（水）、気仙沼市役所において避難所開設・運営演習が行われました。この演習は、災害発生後、被災した市民等を収容する避難所の開設作業と運営方法について、主に初動期における対応や留意事項を避難所に派遣され担当する行政職員の立場で議論し、東日本大震災や平成 28 年熊本地震等の経験や課題点も明らかにしながら、共有していくことを目的とした、市職員を対象とする演習形式の職員研修になります。

今回の演習では、避難所を担当する職員が対象施設に到着した場面などを状況想定として付与し、避難所の空間利用や必要な機能の確認と、施設図面を前にして実際に空間配置を検討する議論から始め、停電・断水した状況での避難所のトイレの使用方法やその周知方法、備蓄物資や食料の配布方法や支援物資の受け入れに関する問題、医療や福祉と連携した被災者支援方法など、避難所の現場で職員がおそらく必ず直面する問題を演習課題に扱い、グループ討論と、施設図面作成や避難所で使う掲示物作成などの作業を組み合わせ、運営方法を議論しました。安倍祥助手（寄附研究部門）は演習講師を担当し、状況説明や検討のポイントをそれぞれの課題で提示しつつ、各グループの検討からノウハウ等を引き出したり、国等の避難所運営に関するガイドラインや、既往災害の避難所に見られた取組方法・課題・教訓などを解説しました。

参加した職員は、災害発生時の避難所運営担当として指名されている方や、東日本大震災で避難所の運営や支援経験のある方、また、復興支援のため他県から派遣されている方など、多様な構成で、大震災での対応方法や教訓を聞き取りながら、他の災害での問題点や震災後に組み込まれている対策なども議論しつつ、避難所で直面する課題について対応の方法をそれぞれのグループで検討し、共有しました。



避難所開設・運営に関する演習の様子
(写真提供：気仙沼市総務部危機管理課)

文責：安倍 祥（寄附研究部門）